

# オンライン試験 受験の手引き

## 【目次】

- I 注意事項
- II 使用機器
- III 受験環境の確認
- IV 受験の用意
- V 受験の実施
- VI 禁止事項・免責事項等について
- VII 不正行為・失格となる行為の一覧

## 【注意事項】

- 試験中は資料などを見ることができません。机などに資料が置いてある場合は、机の上を片付けて頂くようお願いいたします。
- 机の上に出せるものは、受験票のみです。
- 試験の注意事項、開始の合図は、ライブ配信にて行います。配信される試験監督の指示に従って頂きますようお願いいたします。
- 試験中の離席は禁止です。
- 試験中、カメラで受験者の動静が判断できるように、適切な照明を点灯してください。
- 受験中にマイクに雑音や音声が入らないように、周辺環境にお気を付けてください。
- 受験に不要な全てのブラウザとアプリケーションを閉じてください。
- モバイルネットワークで受験される場合は、通信料金が高額になる場合がありますので、有線接続またはWi-Fi環境での受験をおすすめいたします。

## 【使用機器】

- デジタルデバイス
  - パソコンまたはタブレット（スマートフォン不可）
- スピーカー
  - 試験監督者の声を聞くには、内部または外部のスピーカーを使用（作文・小論文試験中のイヤフォンは不可、面接時はイヤフォン使用可）

- マイク  
→試験監督者との通信には、内部または外部のマイクを使用
- カメラ  
→内蔵カメラまたは外付けウェブカメラを使用

#### 【受験環境の確認】

- プライバシー
  - テストは、受験者のみで他の誰も入ってこない部屋で行うこと（高等学校での受験も可）
  - 公園、インターネットカフェ、レストランなどの公共スペースでの受験は不可
- 卓上と座席
  - デジタルデバイスは、机などの卓上に設置すること
  - 卓上およびその周辺には、テスト中に使用が許可されていない物を置かないこと
  - 通常の椅子に座って受験すること。ベッド、ソファ、ラウンジチェアでは受験しないこと
- 服装
  - 原則として制服着用（指定の制服がない場合は、試験に適した服装）
  - 耳は、髪、帽子、その他の物で覆われていない状態で、常に見えていること
  - ジュエリー、ネクタイクリップ、カフスボタン、華美なクリップ、くし、バレッタ、ヘッドバンド、その他のヘアアクセサリ類は着用しないこと

#### 【受験の用意】

- 事前に試験を始めるためのデジタルデバイスの準備を行ってください。
- Web会議システム「Zoom」を利用しますので、事前のインストールをお願いします（オンライン受験マニュアルp.2～5）。
- インターネットサイトの検索閲覧ができるかなどインターネットの接続を確認してください。
- 当日に、カメラが映らない、使用するカメラと異なるカメラ（アウトカメラなど）が認識されてしまうなど無いよう、設定の確認をしてください。
- 試験説明はライブ配信で行われますので、スピーカーが必要です。

【受験の実施】（オンライン受験マニュアル（以下、マニュアル）を参照）

- 受験票と一緒に送ったIDおよびPasswordから、日本経済大学のWeb試験システム（Zoom）へアクセスして下さい（マニュアルp.6～7）。
  - Zoomを利用して、注意事項を説明します。その際、カメラ・マイクのチェックをします。また、禁止事項などをご案内致しますので、漏れの無いようお願いください。
  - 試験中、カメラとマイクは常にオンにしておいてください。
  - 注意事項を説明したのち、Zoomチャットで試験URLをお送りいたしますので、それをクリック（タップ）して、ログインしてください。そこからお手元の受験票に記載の受験番号および受験者氏名を入力し、送信してください。これにより通信テストを行なうとともに、カメラの映像と併せて本人確認をいたします（マニュアルp.8～9）。
  - Zoomに戻り、新たにチャットで送られた試験URLをクリック（タップ）してください（マニュアルp.10）。
  - ライブ配信で作文・小論文のテーマをお伝えします（マニュアルp.10）。
  - 作文・小論文の解答欄は、試験URLサイト内に入力枠がございますので、入力枠をマウスで選択し、入力を行って下さい（マニュアルp.10）。
  - 質問がある場合のみ、Zoomのプライベートチャットを利用し、試験監督官に直接ご連絡下さい（マニュアルp.12）。
  - 解答終了後は速やかに送信ボタンを押してください（マニュアルp.10）。
  - 通信エラー等により送信が完了できない場合は、電話、プライベートチャット等で大学へご連絡をお願いいたします（※）。
- ※ 原則として、試験中における携帯電話・スマートフォンの使用を禁じていますが、試験解答の送信に支障がある場合は、この限りではありません。受験票に記載されている電話番号までお電話ください。
- 引き続き、Zoomで面接を行ないます（マニュアルp.11）。

【禁止事項・免責事項等について】

- 試験中の受験者の動作は、マイク・カメラを通して監督しています。試験中に不正行為を行ったことが判明した場合、あるいは、不正と疑わしい行為が判明した場合は失格となります。
- カメラ・マイクが正常に動作していない場合は失格とします。
- 下記の不正行為・失格となる行為があった場合は失格とします。原則として、行為、行動の基準は公開会場での試験開催の場合と同様とします。
- 本人の確認不足や怠慢により、受験時間になっても適正に受験システムが動

作できない場合は失格となります。動作確認時にご不明な点を解決するようお願い致します。

- 本学は、本人の通信設備、パソコンの事情による通信障害や、本人の責により、受験に不具合が生じた場合の責任は負いかねますので、必ず動作確認を綿密に行ってください。通信基盤の提供会社の事情等により、映像が乱れたり、途切れたりする 경우가少なからず発生する可能性があります。本学は対応できる範囲において、皆様が受験を遂行できるよう対策を講じて参ります。ただし、原則、試験時間の延長はいたしません。
- 面接中に通信トラブルが起きた場合は、本人の希望により、当日中に再接触が可能です。

【不正行為・失格となる行為の一覧】

1. 受験者以外の者が受験した場合
2. 試験中、受験者が入れ替わった場合
3. 試験中に席を離れた場合
4. 試験中に他人と会話した場合（受験者が話していない場合も含む）
5. 試験中に、他の人が、無言であっても、受験者に近寄った場合
6. 試験中に携帯電話及びその他の電子機器を使用した場合（※）  
※ トラブルの発生に伴い、試験の続行に支障がある場合は、受験票に記載の電話番号までお電話ください。
7. 許可された以外の物（本、参考書、辞書、他）を出していた場合
8. 受験者の目に触れる位置に、試験内容に関連する掲示物が貼付又は置いてあった場合
9. その他、不正行為が行われていると、疑われる行為を行った場合
10. 指定された試験時間内に、試験の解答を送信しない場合